

100号ありがとう!

今振り返る 先輩たちの軌跡



発行 開成中等新聞局
発行責任者 宮崎 * *
東区北22条東21丁目
TEL 788-6987

1/365コマ

広報

局室の正式名称は広報室。中等への移行時点では局の存続が確定しておらず、新聞局室という名称が使えなかったそうだ。

発行一〇〇号を記念し、開成高校・中等で20年間新聞局の顧問を務められた工藤幹男先生に当時の局についてインタビューを行った。

開成高校時代の新聞局は、全道高等学校新聞コンクールで9回の総合賞(最優秀賞)を受賞したり、09年には読売新聞の地域面で、道内高校

となった時期もあった。だが、校内誌・日々開成をきっかけに局員数が急増し、12年には最大の28名となった。また当時の開成高新聞はスピード感を重視した発行を行っていた。紙面の大き



▲過去に受賞した全道高等学校新聞コンクールの総合賞・特別賞の盾の一部

開成新聞局 強豪時代

開成中等が開校して以来、生徒にとって貴重なメディアとして活躍している開成校新聞の歴史について紹介する。

- 開成高時代 全道高等学校新聞コンクールで総合賞(1991・2008~15年)、優秀賞(2001・05~06年)、特別賞(1981・98年)を受賞。
- 2016年(H28年) 開成中等が開校。全道高等学校新聞コンクールで優秀賞を受賞(〜2018年)。
- 2020年(R2年) 新型コロナウイルスの感染拡大によって、合計5ヶ月間の局活動停止。
- 2022年(R4年) 全道高等学校新聞研究大会への参加を再開。
- 2023年(R5年) 全道大会で運営を務める。全道高等学校新聞コンクールで特別賞を受賞。



▲新聞局の棚には歴史が沢山

また生徒として報道を行うことも大切にしてきた。学校内の問題を提起する際に、自分のことを横

生徒目線での報道を大切に

現在では活発的に新聞発行を行っている新聞局だが、20年にコロナの感染拡大によって、局活動が5カ月間停止した。当時について第6期新聞局長の寺島千尋さんは「新聞発行や書きたかった記事の執筆が出来なかつた」と当時を振り返る。開成校新聞の発行を楽しみにしていた生徒からも残念がる声が多かったそうだ。

局活動に大打撃のコロナ禍

活動再開後も、三密を避けるために局室への入室人数などが制限され、作業が進みづらかったが、インターネットなどを用いて非対面での活動を少しづつ継続していた。コロナという大きな壁があったにも関わらず、開成校新聞を先輩へと繋いだ先輩方のように、どんな障害にも負けず、開成生へ情報を伝え続けてきた。

それぞれの特性を活かして今後も新聞発行に励んで欲しい」と、局員たちにエールを送った。先生から、紙面に収めきれないほどの新聞局史を教えてください、先輩方の努力を知ったことで、今後の新聞作成にもより力を尽くしていきたいと感じた。



▲開成高校時代の新聞を片手に

執行部員 加賀さん 「学校活動の検証に期待」

開成校新聞は部活や生徒会、外局や個人活動についての情報発信などについて包括的かつ正確な情報掲載を行い、取材を通して学校のメディアとしての役割を担っている。他方で日本新聞協会は

開成校新聞は部活や生徒会、外局や個人活動についての情報発信などについて包括的かつ正確な情報掲載を行い、取材を通して学校のメディアとしての役割を担っている。他方で日本新聞協会は

開成校新聞は部活や生徒会、外局や個人活動についての情報発信などについて包括的かつ正確な情報掲載を行い、取材を通して学校のメディアとしての役割を担っている。他方で日本新聞協会は

開成校新聞は部活や生徒会、外局や個人活動についての情報発信などについて包括的かつ正確な情報掲載を行い、取材を通して学校のメディアとしての役割を担っている。他方で日本新聞協会は



6期生 A先輩

最後に、成功や失敗を経験してこそ人生に彩が付きまます。開成にはその土壌があるので、是非色々な事に挑戦して学校生活を楽しくしてください。

新聞局外の意見

新聞には国民の判断に必要な知識や情報の提供は勿論、問題を検証し、国民の知る権利を保障する必要がある、と述べている。実際、開成高校時代の新聞においては、アンケートなどの取材方法を通して、地域や生徒会の話について、生徒とのコミュニケーションや検証を試みてきた。

開成校新聞は問題提示・検証をする機能が欠如しているのではないかと。私は長らく、生徒会や校則に関する話題といった生徒の疑問には踏み込まないスタンスなのだと思っていた。

最後に、成功や失敗を経験してこそ人生に彩が付きまます。開成にはその土壌があるので、是非色々な事に挑戦して学校生活を楽しくしてください。

開成校新聞の意義を再考する

近年はSNSの普及が進み、私たち学生も様々なメディアを通して、簡単に情報を得られるようになった。同時に主流なメディアであった新聞の購読率が急激に落ち込んでいる。日本新聞協会によると、97年は1年間で約五四〇〇万部もの新聞が発行されていたが、22年には三〇八五万部となり、日本人の新聞離れが進んでいるのが現状だ。そのような現代社会において、開成生への情報伝達を担っている「開成校新聞」の意義とは何だろうか。

新聞局内の意見

開成校新聞の意義とは「開成生の輝きの記録」と考える。学校側が記録する学校行事の大綱や部活動等の大会の結果とは違い、その結果や功績の背景にある生徒

探究学習のおかげだろうか、開成生には自らの興味関心について探究したり、果敢に夢に向かって挑戦を続けている人が多いように

また生徒や保護者から親しみを持って新聞を読

開成校新聞は問題提示・検証をする機能が欠如しているのではないかと。私は長らく、生徒会や校則に関する話題といった生徒の疑問には踏み込まないスタンスなのだと思っていた。

12期新聞局員ら 「生徒の日常と輝きを記録」

今回は新聞局の将来を担っていく12期新聞局員らと、執行部員の4年加賀さんへの問いを投げかけた。

の努力や意見、日常を拘い上げ、情報を新聞発行という形で全校へと発信していくことが求められている。

感じていた。夢への挑戦を続け、輝いている生徒を開成内のメディアで取り上げること、生徒らのモチベーションの向上に繋げていくことができるとは思えないだろうか。

開成校新聞は問題提示・検証をする機能が欠如しているのではないかと。私は長らく、生徒会や校則に関する話題といった生徒の疑問には踏み込まないスタンスなのだと思っていた。

局員のひとりごと

今回のこのコラムを書かせて頂く6期のA先輩です。我ら6期生が卒業して早1年が経とうとしています。在校生の皆様は今年1年間をどのように過ごしてきましたか？コロナウイルスが終息し始め、色々なイベントを楽しめることができました。突然ですが、新聞局室前に飾られているハロウィンの装飾やクリスマスツリーはご存知ですか？イベントという彩りを失ってしまった学校生活が少しでも華やかなものになることを願って制作しました。今年の開成を少しでも彩ることが出来たら幸いです。